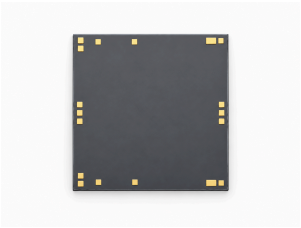
10800–13000 MHz GaN MMIC パワーアンプ・ベアダイ

LCI-PA-10800-13000-PS45T は 10800–13000 MHz をカバーする GaN MMIC パワーアンプのベアダイです。CW およびパルス動作に対応します。

RF 電気特性表の規定値: 飽和出力電力: 45 dBm (標準値); 電力利得: 21 dB (標準値); 電力付加効率: 38 % (標準値). RF 測定条件: TA = +25 °C; Vd = +28 V; Vg = -2.8 V. ダイ寸法: 3.4 × 3.52 × 0.1 mm.



RF 特性

TA = +25 °C; Vd = +28 V; Vg = -2.8 V

項目	記号	最小値	代表値	最大値	単位
動作周波数	f	10800	-	13000	MHz
飽和出力電力	Psat	-	45	-	dBm
電力利得	Gp	-	21	-	dB
電力利得平坦度	ΔGp	-	±0.3	-	dB
電力付加効率	PAE	-	38	-	%

DC バイアスと電流

TA = +25 °C

項目	記号	最小値	代表値	最大値	単位
ドレイン電圧	Vd	24	28	30	V
ゲート電圧	Vg	-3	-2.8	-2.4	V
ドレイン静止電流	Id	-	1.3	-	A
ドレイン動作電流	Idd	-	3.3	-	A
ゲート動作電流	Igg	-	-	2	mA

絶対限界値

限界値であり、通常動作の設定値ではありません。

項目	記号	最小値	代表値	最大値	値	単位
最大ドレイン・ソース間電圧	Vd	-	-	30	-	V
ゲート・バイアス下限	Vg	-5	-	-	-	V
最大入力電力	Pin	-	-	28	-	dBm
最大チャネル温度	Top	-	-	225	-	°C
保存温度	TSTG	-65	-	150	-	°C
負荷不整合耐性	-	-	-	-	3:1	-

ダイ寸法

項目	値	単位
ダイ寸法	3.4 × 3.52 × 0.1	mm
平面外形公差	±50 (平面外形のみ。厚さの公差は記載されていません。)	µm

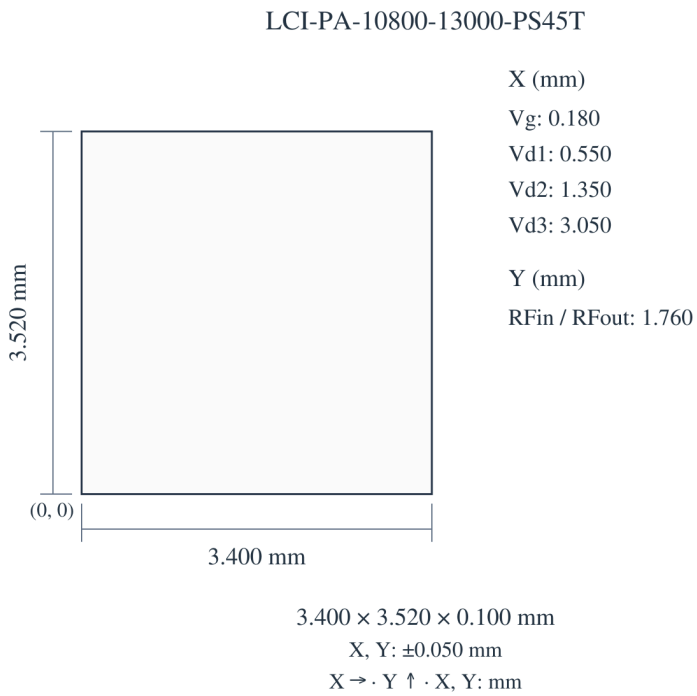
現在の発行記録 · 1.8 · 2026-11-12. 製品説明または編集内容を更新しました。 置き換え対象の改訂版 1.7.

ダイ実装とバイアスの印加順序

電源投入時はゲート・バイアスを先に印加し、その後ドレイン・バイアスを印加します。遮断時はドレイン・バイアスを先に除去します。清浄な環境と ESD 対策を確保し、SiC ダイと熱膨張係数が適合するキャリアを使用してください。

外形寸法図

外形および寸法が示された座標の参照図です。寸法の単位は mm です。製造およびワイヤボンディングには、それぞれの詳細図面が必要です。



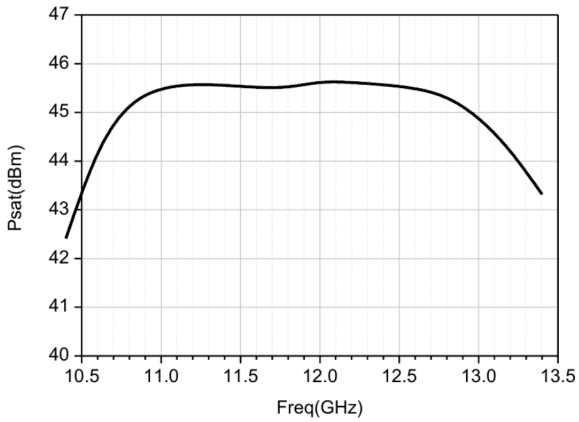
3.400 × 3.520 × 0.100 mm
X, Y: ±0.050 mm
X → · Y ↑ · X, Y: mm

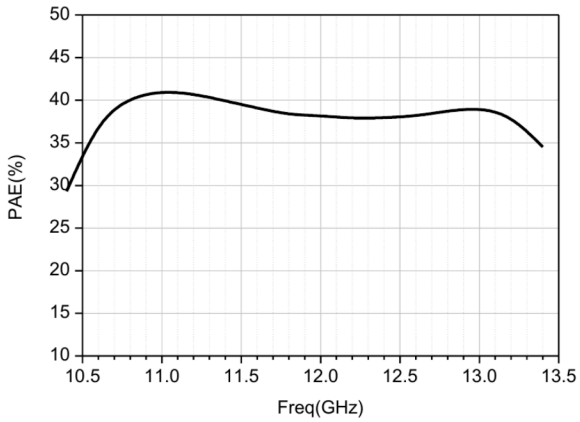
性能特性曲線

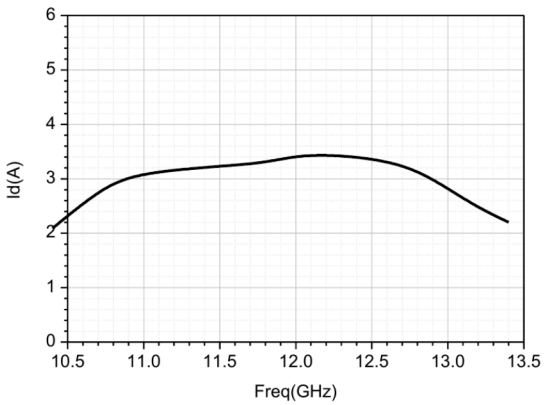
各性能グラフは、図中に示す動作条件における特性を表しています。

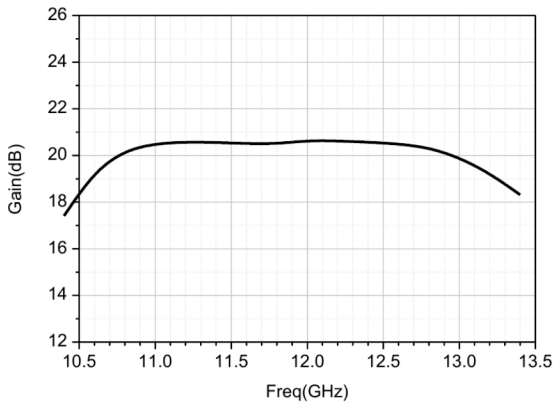
連続波（CW） – 飽和出力電力、電力付加効率、ドレイン動作電流、電力利得。

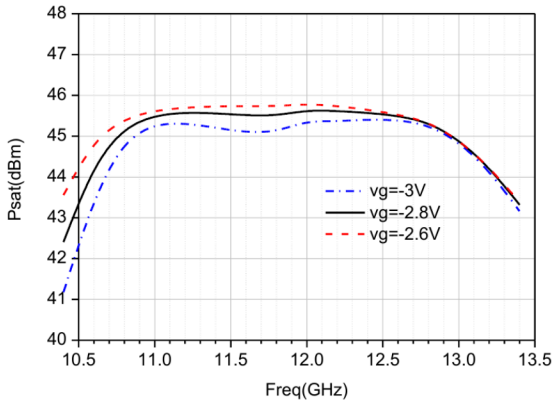
図の注記：Vd=+28V; Vg=-2.8V。 Pin = 25 dBm; Pout / PAE: Vg = −3 / −2.8 / −2.6 V. 条件は指定の各図およびその凡例に対応します。

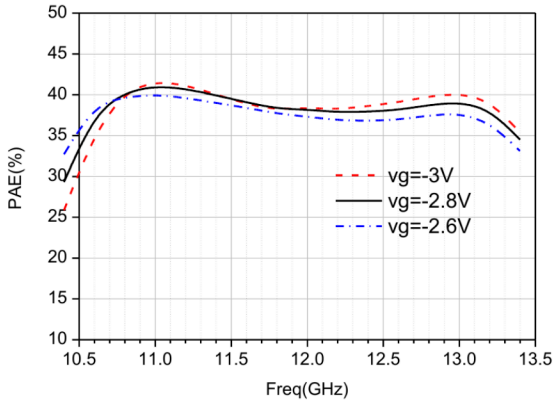












文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。